

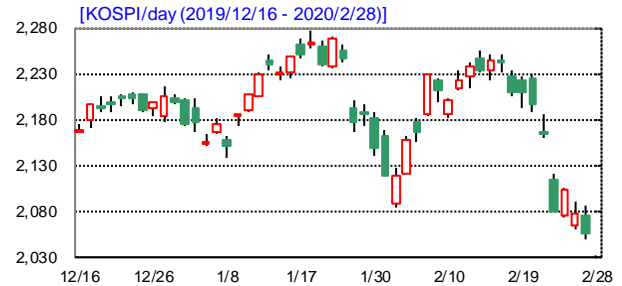


【韓国】 総合指数は週間で 8.1%安と大幅に続落、今週は補正予算が注目材料

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 8.1%安と大幅に続落。新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界的なサプライチェーン（部品供給網）の混乱を警戒する売りが優勢となった。韓国での感染者数が前週半ば以降に急増したことも投資家心理を悪化させた。指数は週明け 24 日に前週末比 3.9%の大幅安。25 日に 4 営業日ぶりに反発したものの、26 日以降は下落続き。27 日に韓国銀行（中央銀行）が市場の利下げ予想に反して政策金利を据え置き、失望売りを誘った面もあった。28 日の終値は心理的節目の 2000 ポイントを割り込み、昨年 9 月 3 日以来、約半年ぶりの安値を付けた。今週は続落も下値は限定的か。新型肺炎の経済への打撃を和らげるため、韓国政府は週内に巨額の補正予算を策定する見込みで、見直し買いの材料となるだろう。

▼指数チャート

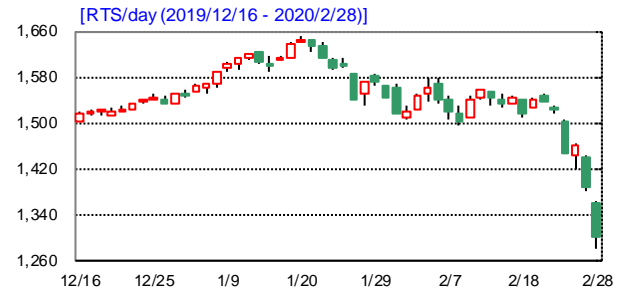


【ロシア】 RTS 指数は週間で 14.8%安と大幅続落、今週も景気悪化懸念が重しか

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 14.8%安と大幅に続落。新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化への懸念が広がる中、原油安を受けたエネルギー株の急落が指数を押し下げた。3 連休明けの 25 日は欧米株安を受けて RTS 指数が前営業日比で 5.2%の大幅安。新型肺炎がもたらす世界的な経済成長減速への警戒感が重しとなった。26 日は 1.0%高と反発したものの、27 日に 5.1%安、28 日に 6.2%安と大幅に続落し、指数は約半年ぶりに 1300 ドルを割り込んで週を終えた。個別ではスルグトネフテガス、ガスプロムなどのエネルギー株が軒並み 2 桁安となったほか、素材の MMC ノリリスクニッケル、金融のズベルバンク・オブ・ロシアも 7-8%下落した。今週も新型コロナウイルスの感染拡大による景気悪化への警戒感が重しか。

▼指数チャート



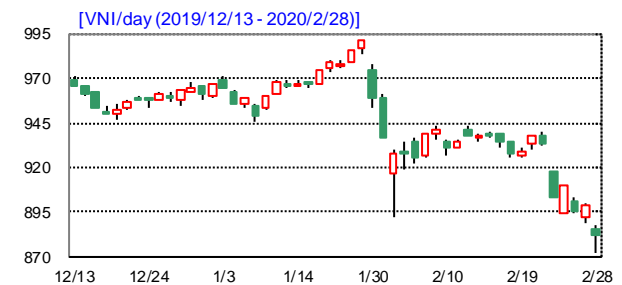
【ベトナム】 ベトナム指数は 5.5%安と 3 週続落、今週も新型肺炎の感染拡大が重

しか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 5.5%安と大幅に 3 週続落。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けてリスク回避の流れが強まった。週明け 24 日の VN 指数は前週末比 3.2%の大幅安。世界的な景気悪化への警戒感が強まり、株式などのリスク資産からの資金流出が勢いを増した。26 日は 1.5%安。28 日は 1.8%安の 882.19 ポイントで引け、約 1 年 2 カ月ぶりの低い水準で週の取引を終えた。個別では原油相場の急落が重しとなったエネルギーのペトロベトナム・ガスが 11.2%安、飲料のサイゴンビール・アルコール飲料が 10.3%安と急落した。また、金融のベトナム投資開発銀行やベトコムバンク、不動産のビンホームズも軟調な値動きで、指数を押し下げた。今週は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が引き続き重しとなるか。

▼指数チャート



【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 7.3%安、新型コロナウイルスの感染拡大で大幅安

ジャカルタ総合指数は週間で 7.3%安と反落。2 月月間では 8.2%安。先週は国内の重要イベントが少ない中、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が指数を押し下げた。週初の 24 日は前週末の NY ダウが続落した流れを引き継ぎ、前営業日比 1.3%下落。27 日は配当権利落ちで国営銀行大手のバンク・ラケット・インドネシアが指数下落を主導し、前日比 2.7%安となった。28 日も下げ止まらず、前週末から 6 営業日続落し、終値で 17 年 3 月以来の安値を更新して引けている。今週は 2 日発表の 2 月の CPI に対する市場の反応が焦点。新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかかれば株式相場の支援材料になるか。

▼指数チャート

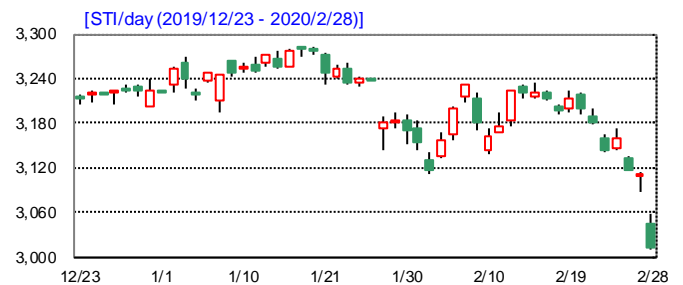


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 5.3%安、今週は 2 月の製造業 PMI に期待

ストレーツタイムズ指数は週間で 5.3%安と続落。2 月月間では 4.5%安。先週は週末の下落が痛手だった。週初の 24 日は、中国以外での新型コロナウイルスの感染が広がった影響で売られ、指数は終値で前営業日比 1.2%安と 3 日続落。25 日は反発したが、26 日は 1 月の鉱工業生産が前年同月比 3.4%増と 3 カ月ぶりに前年同月の水準を上回ったものの補えず、前日比 1.3%安と反落した。27 日も小幅に下落すると、28 日は金融株が下げを主導し、前日比 3.2%安と 3 日続落して引けている。今週は 3 日の取引終了後に 2 月の製造業 PMI が発表される予定で、3 カ月連続で節目の 50 ポイントを超えるかが焦点。

▼指数チャート

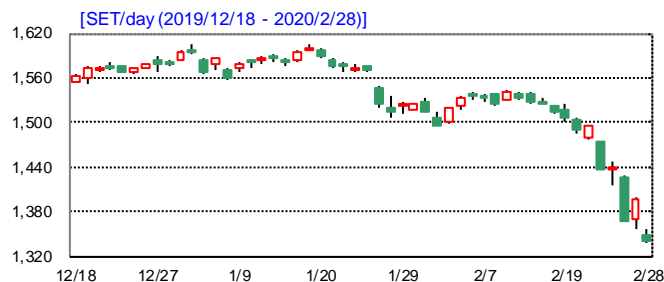


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 10.3%安、世界同時株安で週末に 4 年ぶりの安値更新

SET 指数は週間で 10.3%安と 3 週続落。2 月月間では 11.5%安。先週は荒い値動きが続いた。24 日は世界同時株安に連動して金融株を中心に幅広い銘柄が売られ、指数は前営業日比 4.0%安と反落。同日に発表された 1 月の輸出額は前年同月比 3.4%増と市場予想の 3.0%減から上振れしたものの、効果は薄かった。25 日は小幅に反発したが、26 日は 1 月の鉱工業生産が前年同月比 4.6%減と 9 カ月連続で前年割れしたことも売り材料となり、指数は終値で前日比 5.1%安と反落。27 日は前日比 2.1%高と反発した一方、28 日は 3.9%安と反落し、4 年ぶりの安値を更新した。今週は 5 日に 2 月の CPI が発表される。

▼指数チャート

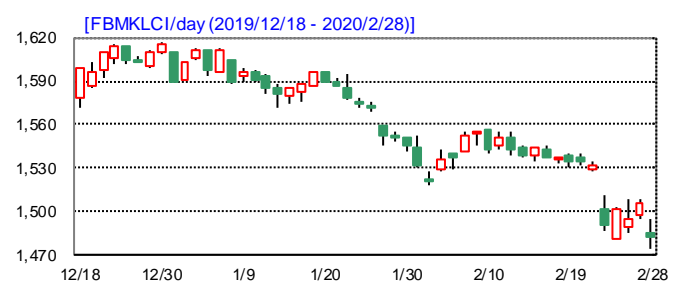


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 3.2%安、マハティール首相辞任で下落

クアラルンプール総合指数は週間で 3.2%安と 3 週続落。2 月月間でも 3.2%安。先週は週末に約 8 年ぶりの安値を更新した。週初の 24 日はマハティール氏が首相を辞任し、政局の混乱に対する懸念が高まった影響で、指数は前営業日比 2.7%安と続落。27 日は新型コロナウイルス対策としての景気刺激策発表を取引終了後に控えた期待感から買い優勢となったが、28 日は前日の NY ダウが急落した流れで前日比 1.5%下落した。今週は 3 日に中央銀行が定例の金融政策決定会合を開催するほか、4 日には 1 月の貿易統計が発表される予定。29 日に任命されたムヒディン新首相による組閣の動向も焦点になりそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合もあります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。